

# スプラッシュフェスティバル

8月13日(日) ~ 8月14日(月)

IN 兵庫県立兎和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	水鉄砲大会	作戦会議
2日目	野外炊飯、フェス準備	スプラッシュフェスティバル	施設を出発、解散

一日目： 台風の心配がありますが、メンバー皆の気持ちは高く、スプラッシュフェスティバルが楽しみな様子をあちこちで伺えます。尼崎に全員が揃い、施設へ向かいました。行きの車内では、水鉄砲の紹介や昨年参加された方がどんな雰囲気かの説明など、キャンプに対して談笑を楽しまれました。施設に到着し、昼食を済ませると、早速水着に着替えて、水鉄砲の掛け合いを行いました。様々な種類の水鉄砲があり、どれも自慢の逸品です。暑い中、冷たい水の掛け合いは本当に楽しく、気持ち良さそうでした。水鉄砲の撃ち合いの後は夕飯です。皆、沢山食べておられ、おかわりを何度もされる方もおられました。夜のプログラムは、翌日のスプラッシュフェスティバルに向けて、準備を行いました。支給された白シャツで“チームのユニフォーム作り”や、“旗作り”、“チーム名決め”をしました。明日はスプラッシュ本番です。皆、意気込んでます！！



二日目： 今日待ちに待ったスプラッシュ本番の日です。朝食はお馴染みの【カートンドッグ】です。作り方をご存じの方も多く、初めてつくる方に教えておられました。しっかり食べて、お腹も満たされた後は、昨晚に完成できなかった旗やユニフォームの完成を目指しました。旗、ユニフォームが完成し、昼食をお腹一杯食べた後は、ついに『スプラッシュフェスティバル』です！！各チーム、ユニフォームを身に纏い、色水をつくり、陣地を確保し、水鉄砲に色水を補充して、スタートの合図を待ちます。そして、号令と共に一斉に陣地から飛び出し、撃ち合いました。やみくもに突っ込んでいくメンバーはあっという間にユニフォームが染められていました。慎重に自陣で守っているメンバーも、相手が攻めてくると撃ち合いになり、じわじわとユニフォームが染められていきました。一試合目は作戦通りにあまりいかず、どのチームもバラバラな雰囲気がありました。第二試合が始まるまでもう一度しっかり話し込み、作戦の確認を行いました。色水を作り直し、水鉄砲に補充をし、スタートの号令が鳴ると、一試合目とは大きく異なり、全員が慎重となっています。声を掛け合い、考えて行動されている様子が十分感じることが出来ました。ただ撃ち合えば良いだけではなく、ポイの制限数や銃バトルなど、様々な要因があるので、それらのポイント獲得するために皆、必死です！！あっという間にフェスティバルは終わってしまいました。皆、やりきった表情でした。戦う前に【ノーサイド精神】をお伝えしたので、敵味方問わず、健闘を称え合っていました。本来ならば、この後は片付けをしてゆったり出来るのですが、台風の影響により、夕方には施設を出発しないとイケません。それに向けて、皆真剣な表情で片付けや着替え、帰る準備をされていました。出発前に施設に御礼を伝えて後になりました。「もう一泊したかったあ〜。」と名残惜しい声は沢山聞こえましたが、同時に、「来年も来よう！！」と先を見据えている方もおられました。



## <キャンプ総括>

スプラッシュフェスティバルは、毎年非常に多くの皆様にご参加いただいている大人気キャンプです。テレビゲームの世界観を実際に味わえる事は、メンバーにとったら夢のような話で、集合時から皆さん興奮されていました。しかし、興奮して調子に乗ることは怪我や事故のもとなので、「調子に乗らない。」「落ち着きなさい。」ととにかく伝えました。興奮が高まる事で楽しめますし、高揚します。このジレンマがメンバーにとって難しいと思います。それを明確化させる為に【ルール】が設けられます。今回は特に様々なルールやお願いを伝えました。普通ならルールが多いと嫌になりがちですが、今回の皆さんはしっかり守っていただきました。それだけ楽しみたい気持ちが強く、ルールの存在理由を理解していただけたからこそだと考えております。台風の影響で、十分なプログラム実施ができませんでしたが、全員が楽しんでいただけたことを心から嬉しく思います。最後になりましたが、今回のスプラッシュフェスティバルは、台風の影響で日が短くなったり、解散時間が非常に遅くなったりしたことで、皆様に多大なるご迷惑をお掛けしました。ご参加頂きました皆様、それでも暖かく見守っていただきました親御様に心よりお詫び申し上げます。また、急な変更に対応いただき、本当にありがとうございました。 (竹中 哲郎)